

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

棚倉町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

福島県東白川郡棚倉町

### 3 地域再生計画の区域

福島県東白川郡棚倉町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町の人口は平成期に減少傾向に転じ、国勢調査によれば、平成2年に16,606人であった人口も平成27年には14,295人となった。以降も減少傾向が続いており、令和2年1月1日の住民基本台帳人口は13,951人であった。国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した試算によると、令和22年には10,621人となる見込みである。

その減少理由については、自然動態においては出生者数が顕著に減少傾向にあること、社会動態においては転出超過が続いていることが考えられる。令和元年の状況は、自然増減で▲114人、社会増減で▲95人となっており、合わせて、人口の1.5%程度が減少した。

また、人口を年齢区分別に分析すると、15歳未満が減少し、65歳以上が増加している状況にあり、令和2年1月1日の住民基本台帳人口による構成比では、15歳未満が12%、15～64歳が57%、65歳以上が31%となっている。

このまま人口減少が続き、少子高齢化が進めば、本町においても各産業での人手不足や、消費市場の縮小による経済活力の低下が起こるだけでなく、地域を支える様々な分野でこれまでの水準での持続が困難になることが懸念される。

こうした状況を克服するため、令和6年度に本町の合計特殊出生率1.97、あわせて令和6年度までの5年間で年間の社会減数を現状と同水準の64人を目標に掲げ、令和42年に人口1万人を維持することを目指す。

これらに取り組むにあたって、次の事項を本計画期間における基本目標とする。

- ・基本目標 1 働きやすい環境があるまち
- ・基本目標 2 人を引き付ける魅力あふれるまち
- ・基本目標 3 安心して子どもを産み育てられるまち
- ・基本目標 4 心豊かな暮らしがあるまち

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町内総生産額	601億7,400万円	610億円	基本目標 1
イ	年間の社会減数	64人	64人	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	1.27	1.97	基本目標 3
エ	「棚倉町に住み続け たい人」の割合	43.1%	43.2%以上	基本目標 4
	お達者度*	男性17.00年 女性20.59年	男性18.00年 女性21.59年	

\*福島県が算定する「対象年齢 65 歳の日常生活動作が自立している期間の平均」のこと。

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

棚倉町まち・ひと・しごと創生推進計画

ア 働きやすい環境があるまちをつくる事業

- イ 人を引き付ける魅力あふれるまちをつくる事業
- ウ 安心して子どもを産み育てられるまちをつくる事業
- エ 心豊かな暮らしがあるまちをつくる事業

## ② 事業の内容

### ア 働きやすい環境があるまちをつくる事業

地域産業活性化に向けた既存産業の育成、地域産業の人材の確保と育成、女性や若い人の雇用環境の整備を行う事業。

#### 【具体的な取組】

棚倉ブランド認証事業、生産性の高い林業の実現、後継者確保に向けた人材のマッチング・育成の推進、起業支援、移住就労者支援、女性が活躍する雇用環境の整備、等。

### イ 人を引き付ける魅力あふれるまちをつくる事業

自然と歴史、文化の薫り高いまちをつくる、定住促進のための住環境の整備と活用をする、本町とかかわりのある人との交流促進をする事業。

#### 【具体的な取組】

自然・歴史・文化資源を活用した交流人口や関係人口の拡大、本町の歴史を学び、町民としての誇りを持つ意識の醸成、子育て世代やU I J ターン希望者の定住に向けた支援体制の強化・充実、空き家の活用、等。

### ウ 安心して子どもを産み育てられるまちをつくる事業

出逢い、そして結婚へつなげる、出産、子育て環境の支援・充実を図る、魅力ある教育環境をつくる事業。

#### 【具体的な取組】

男女の出逢いの場づくり、結婚を後押しする支援策、子育て世代包括支援センターを中心とした子育て支援策、キャリア教育の推進、等。

### エ 心豊かな暮らしがあるまちをつくる事業

安全で安心な暮らし、健康で、ゆとりと潤いのある暮らし、環境にやさしい暮らしをつくる事業。

#### 【具体的な取組】

自主防災組織の育成・強化、高齢者等の移動手段の確保、健康づくりの支援、学びの支援、等。

なお、詳細は第2期棚倉町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

基本目標、施策ごとにK P Iを設定して、施策・事業の効果を検証するとともに、課題等の整理を行い、以降の施策・事業構築に当たる進行管理を行う。評価・検証は、毎年6月に、町民や地元企業、金融機関など産官学金労言士で構成する棚倉町総合戦略推進協議会において行う。結果については本町ホームページ等で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当無し

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで